長時間脳波モニタリング検査を行う患者様へ

経過日数	1日目　／	2日目　／
観察	1日に1回、その他必要時検温をします 必要時心電図等のモニターをつけます	
	けいれんが起きた時、または変だなと感じたときはイベン	
安静	脳波電極をつけた後は、トイレに行く際に看護師へ声をかけ	
食事	通常の食事ができます 	
清潔	脳波電極をつける前にシャワー及びシャンプーを済ませておいてください	体を拭きます 頭のかゆみが強いときには
診察	医師の診察があります 	
処置	脳波電極を頭皮につけます 朝と夕方に電極の装着状態を確認します 	
検査	入院中に必要時、採血をします 	
	入院中に必要時、MRI検査行います 	
薬物療法	今まで飲んでいた薬をしばらく中止にします 医師の判断により必要時、抗てんかん薬の内服を再開するこ	
説明	発作時のイベントボタンの操作について説明します	医師から採血の結果をみて 発作回数が十分で手術適応 入院期間を短縮します
指導	入院診療計画書をお渡しします	
目標	1）局在性のてんかん波がとらえられ、手術の適応が明らか 2）安全に入院生活をすごすことができる 3）安全にモニタリングを終えることができ、退院できる	

・ 症状、状態に応じて予定通りにならないこともあります。その場合
・ 分からないことがあれば遠慮なくお尋ねください。

2005年11月作成　（2026年6月改

氏名　　様

3・4日目　／　・　／

トボタンを押してください
ナてください
 :看護師に伝えてください
終了時に電極を外します
ことがあります
:退院の説明があります :が明らかになった場合、 
退院前に薬剤師が 内服薬について説明します 
いになる

、その都度説明します。

訂）　パス委員会承認　聖隷浜松病院C9病棟